



発行責任者 柳 利夫  
 住所 東村山市萩山町5-6-26-301  
 Tel. 0423-92-8808  
 編集者 川村 英明

### 第17回 市民体育大会始まる

秋季市民体育大会の硬式テニスが予定通り9月15日祝日の日に、男子シングルス(A)で幕をあけました。

幸いに雨にあわず今の所順調に行われています。今年も参加も多く男子シングルス(A)が98名、男子シングルス(B)が40名、同ダブルスは、案に97組となりました。

今季はD外も大変少なくて、男子シングルス(A)と、ダブルスは一日で終わるが二日にわたって行われています。現在男子シングルス(A)は、15日と23日、男子シングルス(B)は、23日に終り、男子ダブルスは21日に3回戦まで行われ、4回以後は9月28日に行われる予定です。

現在の結果

男子シングルス(A)	男子シングルス(B)
優勝 中村(日橋荘)	優勝 渡辺(一般)
準々 小湊(一般)	準々 江藤(市民テ)
三位 伊藤( )	三位 矢野(グリーン)
〃 松本(緑岡荘病院)	〃 杉田(日橋荘)

市民テニスクラブからも多数参加し、汗を流して一生懸命最後までがんばりました。

男子シングルス(A)は残念ながら入賞することは出来ませんでした。(今日武谷氏は、講習会出席の為23日出場出来ませんでした)。しかし志永、松井氏をはじめ増沢、本俣氏も、善戦けん闘し次回、大いに期待したいものです。

さて、今回特注すべきは、男子シングルス(B)で惜しくも優勝はのがしたもののみごと準優勝した高校生の江藤君(東住)です。一回戦、二回戦と進むにつれて気合が入り決勝は、1-6、6-7と、2-0ではあるが新人ながら立派に最後までがんばりました。

来年はAクラスでがんばることでしょう。彼の将来が楽しみです。

総評は、全日程終了後にさせていたゞきですが、またこの後、女子シングルス、壮年等ありますが参加される方はがんばって下さい。参加されない方も、是非応援してあげて下さい (米田 寛 記)

### 軽井沢の太田山荘へテニス訪問

8月17日(木)柳会長より太田先生の軽井沢山荘への招待状が市民テにきたが、急の事だけれど8月9~10の土日で、やりくりのつく人達でまず訪問したい、都合はと連絡が有り行かれそうなる方々に通達、最終的メンバーは急な事もある、柳会長、阿辺川、儀向、武谷、藤岡の諸氏に小生の6名と云う事でした。招待状の末尾に太田先生の愛車輸送を是非にとの伝言も有り、又近距離と云う事も有り、儀向、藤岡両氏の車を利用させていただく。

8月9日朝5時30分、例により康佳給水塔前 出発、コースは所沢より南越 高速に入り藤岡ICを下り、途中横川の

釜めし屋より山荘へ連絡、土産に釜めしの出前を受け、軽井沢へ急ぐ、途中大きく迂回すると云う誤算を生じ、まずは無難に山荘へ到着、先生及び2人の女性に迎えられ、縁と稱けさの中に先生手造りの木造展望台が裏庭の谷を見下している。同じく手製のベンチ、テーブルで、冷いビールの乾杯、いやーそのうまさった幸!! 当日は急な事由、コートを用意が出来ず、しかし先生の先導にマ万産高原、鬼押出と、あいたくの霧の中をドライブ、雲の上に行く様子を浴をはなれ心洗われる時間を過ごす。帰りつくと奥様と友人の夫人により風呂が用意されていた。この風呂がまた、旅しかった。話には良く聞いたが、入るのは初めての五軒門風呂である、各自入浴が終ると、夜の部バーベキューパーティの始まりである。いつもの柳節も出て、かなり遅くまで語り且つ、唄い楽しい時が流れる。

8月10日早朝、冷気に目をさます、谷間のわき水にで洗顔を、ただちにコートへ、コートはオールウエザート、云う事なし、層松、白樺、軽井沢、あこがれの避暑地でテニスが出来る、阿辺川氏他感謝、武谷氏の指導で約2時間の練習、帰りぎわにコートに沢松親子ファミリー登場、合同練習に親睦試合にと? (出来たう良かったと一同)、またまた大感謝、太田先生にお願いして、記念写真に入っていた、山荘に帰り朝食兼昼食、御夫人方の好意により薪でたいた御飯で米のうまさを再認識する。2日間の予定も終り太田先生、御夫人方に見送られ帰路につく、短い日程でしたが、この度の軽井沢山荘の思い出はいろいろ人の好意が身にしみた旅として、いつまでも心に残るでしょう。柳、阿辺川両氏が、太田先生を気付け、太田先生も柳会長の病後を勇気にかけて……

いつまでも太田先生御夫婦の健康を祈り又の機会を得て山荘へ市民テ諸氏と共に伺いましょう

尚、10月頃は紅葉がみごとだと云う事です。

(東住クラブ) 杉山 邦夫

### 私とテニス <NO35>

本町クラブ 高橋 達子

何事にも、すぐカーッと夢中になる私も、今迄に、これ程迄に打ち込み好きになつた趣味やスポーツは、種々やってみましたが、ありませんでした。テニスの何が私を引付けて高くないのか……。

小さい時から、飛んだり跳ねたりの好きだった私は軟式テニスをしてた父や兄のラケットが身近に転がっていたので、見様見真似で小学校上級生か中学の始め頃ラケットを手に入れました。練習をしたように思うのですが上達せず面白味はとんと解らず(今思うにコートらしいコートが居なかった為?)いつの間にやらラケットとの縁は切れていました。永いブランクの後、就取した先で、まぶ目に飛び込んだのは、青い空の下赤いアンツーカーコートでした。素適な人が居たのかどうか、兎にも角にもテニス部へ。手にしたラケットは丸くても重く(一番軽い品でしたが)軟式しか知らなかった私には、目新しくボールと弾む球

音と共に、心も弾み次第に好きになりましたが、...。実際に出来たのは僅かでした。結婚後はどう向進えたか動くことは歩くことのみという主人の關係や、コートとアレイする人に恵まれず、又テニスとは疎遠な關係になっていました。遅命の女神が微笑んだのは53年夏当地へ越して来てからは市内偵察と、我愛しの自家用二輪車で走り廻りつづけたコートからでした。早速入会出来る会を、友を求め市役所へ足を運びましたが、思うにまかせず結局、我家の工事担当者の方からの口添えで、めでたく同年1月から市民テニに入部させて戴きました。入ってビックリ見まビックリ。上手な方々がワンサカいらして、コーチの方が球を一生懸命出して下さるやら教えて下さる。最初は小さく(自分では)なっていました。これで刺激されないはずはありません。ジワジワと夢中になる虫が頭に登り、以後だんだん厚かましくなり、運動神経のことや、生きてきた年輪も一度ラケットを握ると、人並でソコ代位に錯覚する。無理のない美しいフォームや早い打球、コースをねらった試合運び等を目にするると、頑張れば私にも出来るのではと欲張る。目標にする方々には事欠かない、これらの条件に効きされま土、日の練習ではもどかしく、時間の許す限りテニスに費やした一年でした。最初はコーチの方の言葉ではありませんが本当に「どうなるやら」でしたが、何とか試合をしなくても楽しめるようになりました。まだまだ一つ教えてもらおうと、前の注意はフツと消え、又注意受け「アッしまった」の練習しですが、今はテイクバックを小さく早く、打球を前にフォロースルーを大きくと口の中つぶやいています。出来なかったことが練習に依り少しずつ出来る、それをステップに又次の技術を、この成しとげに行く満足感とやったという充実感。これこそテニスに夢中になった一番の原因でしょう。もう一つは良きライバルがあると共に友達に恵まれた(今では足元にも及ばないが)ことでしょう。これは大きな心の張りを継続させてくれます。今ではテニスは私にとって、活力であり、生活の油のようになっていきます。

### 自己紹介コーナー

1. 氏名 前届クラブ 男・女 生年月日 (又は誕生日)
2. 出身地(その特徴) 3. 家族構成 4. テニス歴
5. 他のスポーツ(現在又は過去やった) 6. 趣味
7. 自分の特徴 8. 今年の目標または期待

#### NO.15

1. 山川理美(さとしみ)、美佳クラブ、女、昭和35年9月7日  
 明星大学人文学部心理教育学科教育学専修2年次  
 2. 東京(田無)谷戸川のすぐ隣り保谷高まで自転車で7分  
 東林山へは高1のクリスマスの日に引越して来ました  
 3. 父、母、弟(高2)、妹(中1) 4. 軟式6年  
 5. スキー、水泳 6. ピアノをひくこと、スポーツすること  
 7. マイペースで努力し続ける(目標?) 8. 一生懸命練習して、シングルの試合に出たい(一度もしたことがないんです...)

コート取りの当番	本町A	10月に11月分を
	東住B	11月に12月分を
	恩多A	12月に1月分を

### 技術シリーズ"NO1 (その2) 武谷 千枝子

d) 余裕のあるボールで攻撃を。

自分で制御出来るボールは積極的に攻撃してみる。もし失敗したう前述した条件、ボールの速さ、高さ(高いボールでも蒸してとってはいけない)精神的にも余裕があったかどうか反省してみよう。

#### 3. フォーメーション

雁行の場合の基本的な考え方として、ダブルスでは二人で力を合わせて戦うもので、後の人のシングルスではない。後はあくまでもボールを繋ぎ、チャンスを作って、前が決めるものである。上手なチームになればなる程、後からストロークで決めるなどという事は不可能になってくる。

a) 後の守り方

a' 苦しいボールはとりあえず返す。(とりあえずの精神)、免に角、なりふりかまわらず走って拾いネットを越えさせ、ボールを繋ぎ、相手にミスさせるチャンスをもう一回与える。

a' 少し余裕のある時 一前にとられないボールを返す。=クロスに=ロブでもクロスに返す。

a' 更に充分制御出来るボールである時には、コースを考えたリ、パッシングしたり、深く押したボールを打つなどしてチャンスを作る。前足の足を越すロブはこの時に初めて使う。余裕のないボールや精神状態で前足の足を越すと、必ずチャンスが上ってしまい、次には味方の前足は、けがをしないように逃げ出すなければならぬ。後で深いボールを打つとチャンスが上ってくる、ゆめゆめ後で決めようなどと思ってしまう。もっと前足を信用しなさい。

カ ボレーヤーの攻め方

雁行の場合、大活躍出来、ポイントをとることが出来るのが、ボレーヤーで、ネットに付いた装飾品ではないのです。もっと皆さん働きましょう。ではどうやって切るか。

前後、左右に動く — ボールと平行移動を —

ガ 前につめるとき、相手のコートにボールがある時はネットにつき、相手の打ってくるボールに備える。前につく意味 ① コートに空を作らない。ペアの打ったボールが短かく相手にチャンスを与えてしまった時は特にサイドを守る。② チャンスボールを決める。自分のペアの打ったボールが深く、チャンスがありそうな時は、さあこい、決めようと思つて構える。

ガ 自分のコートにボールがある時、少し後に下って自分のペアの打ったボールが、相手前足につかまってしまうボールをフォローする(図1)

ガ 左右に動く、ボールがサイドに着いたら、体をサイドに寄せ、充分パッシングを警戒する。反対側のサイドに行った時はセンターまで出る(図2)(ガ)

